

今年度より、以下の点を変更しました。

申請書類の書式も変更しています。ご注意ください。

- ・「奨励研究助成」を新たに【1】【2】【3】の3カテゴリーに区分
- ・対象年齢を「45歳以下」に変更
- ・募集対象分野を再編成

2023年4月1日

公益財団法人ロッテ財団  
第11回（2024年度）研究助成事業  
「奨励研究助成」 募集要項

## 1. 本助成の趣旨

本助成は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象とした助成制度です。自然科学から人文/社会科学にわたる「食と健康」の分野において、独創的・先端的な研究に専念する優れた若手研究者を助成します。

## 2. 本助成の特徴

- (1) 当財団の助成研究領域の多様性を考慮して、助成金額は上限300万円まで（少額でも可）とし、研究期間については1年間から3年間まで選択可能です。
- (2) 自然科学、人文/社会科学の広域科学分野からの応募が可能です。
- (3) 助成終了後も、当助成研究課題における論文作成、掲載、発表等にかかる費用についての付加的支援を行います。

## 3. 助成件数・助成金額・研究期間・対象年齢

今年度より「奨励研究助成」に3区分の応募枠を設定しています。昨年度までの(A)(B)区分の内容と異なっています。ご注意ください。

	奨励研究助成		
	【1】自然科学 基礎研究	【2】自然科学 応用・実装研究	【3】人文/社会科学 研究
助成件数	20件程度	10件程度	10件程度
一件あたりの 助成金額	上限300万円 ※10万円単位で申請してください。少額での申請も可能です。		
研究期間	1年から3年まで選択可能		
対象年齢	原則45歳以下（4/1時点）		

#### 4. 助成対象分野

今年度より対象分野の区分を改編しました。ご注意ください。

##### ●自然科学研究分野

#### 1 食の生産から食卓まで（食に関する SDGs 課題）

- ・ 生産・製造、加工、流通、保存、調理、備蓄、廃棄、再活用等
- ・ 食の安全性・衛生
- ・ 次世代の新たな食資源、食料の安定確保、環境問題（フードテック、アグリテック等）

#### 2 食を味わう/楽しむ（食による QOL 向上）

- ・ 食と五感、素材、風味、テクスチャー、知覚、感性等
- ・ 咀嚼・嚥下、高齢者食、介護食
- ・ 食の嗜好性

#### 3 食と生命（食による疾病予防、健康増進、ウェルビーイング）

- ・ 栄養素、機能性食品成分
- ・ 疾病予防・治療に関わる食の役割（生活習慣病、口腔環境、腸内環境、アレルギー、免疫疾患、ストレス低減等）
- ・ 食と生活習慣・行動（食事時間、運動、睡眠、摂食障害等）
- ・ 高齢者の健康維持（アンチエイジング、フレイル、サルコペニア、介護等）

#### 4 食と健康を支える情報科学

- ・ バイオインフォマティクス、データサイエンス、IT および ICT（情報通信技術）

##### ●人文/社会科学研究分野

#### 5 食文化研究

文化/社会人類学、民俗学、社会学、地理学、文献学 等

#### 6 食に関する経済・政策研究

経済論、政策論、マーケティングリサーチ、地域振興（活性）、食品ロス、  
飢餓・貧困対策、環境問題、フェアトレード、流通論、フードシステム論、  
フードマネジメント、消費者行動解析 等

#### 7 食と生活についてのリサーチ・分析等

食とライフスタイル、食とコミュニティ、食の心理学、食教育、食行動、食情報、  
食と生活環境 等

##### ●その他

#### 8 1~7 の分野横断的研究

## 5. 応募資格

- (1) 本年4月1日時点で原則45歳以下\*の方。国籍は問いませんが、本人が日本語で申請書を記載できる方。  
※ 出産や育休など、やむを得ぬ事情で研究を中断した期間がある場合は、「申請概要」内「申請者の略歴」に記載してください（任意）。
- (2) 申請時点で、国内の大学・短期大学・高等専門学校および公的研究機関（以下、「所属機関」）に所属する研究者で、助成期間中に国内の研究機関において助成金の機関管理が可能な方。（提出時点で博士課程在籍中など、研究職に就いていない学生の方は応募できません）
- (3) 助成申請にあたり、所属機関長（学部長・研究科長・研究所長等）の承認を得られる方。
- (4) 科研費等の大型助成を申請時点で受けている場合、研究課題名の重複や、エフォート管理上、研究費の過度の集中が認められるときには、不採択となることがあります。
- (5) 当助成の課題研究については、成果の公表（論文発表や学会等での口頭発表）が可能な研究としてください。（企業との共同研究等で研究成果が非公表となる課題については認めていません）
- (6) 当財団の助成（「研究者育成助成（申請者本人・育成支援教員）」「奨励研究助成」）について、重複しての応募または助成を受けることはできません。
- (7) 当財団助成を助成中の研究者である場合、再申請については、助成期間終了後に行ってください。

なお、2023年12月14日（木）の贈呈式には、病気や海外留学中等やむを得ない事情を除いて、申請者本人に必ず出席していただきます。

## 6. 応募方法

申請書類の郵送は不要です。Web上でのみ申請手続きを行ってください。

### (1) Web 申請

ロッテ財団ホームページ>「研究助成事業」>「申請方法」より、「マイページ」にログインし、登録・基本情報の入力、及び申請書類のアップロードを行ってください。

「申請方法」：<https://www.lottefoundation.jp/grant/apply.html>

(2) 応募提出物一覧 **注) 今年度より申請書の書式が変更となっています。**

- 「研究概要」 2 ページにまとめてください。
- 「申請書」 全体で必ず 6 ページ以内に収めてください。
- 「予算書」
- 論文 2 報まで（「申請書」[8]「業績リスト」中①、②のもの）

(3) 申請書類記入上の留意点

- ① 申請書類は日本語で本人が記入してください。
- ② 申請書類の記入方法については、書類上に記載の注意事項を必ずご確認ください。
- ③ 申請時に web 上で入力する所属機関、職位、研究希望期間、希望金額等と、申請書記載事項に相違がないか、特に再申請の方は十分ご確認ください。

※募集締め切り後の申請書類記載内容の変更および論文の差し替え等はありません。

## 7. 応募締め切り

**2023 年 5 月 26 日(金)12 時 (正午) まで Web での登録完了のこと**

## 8. 選考日程・結果通知

2023 年 8 月 24 日(木)開催の選考委員会にて書面審査を行い、10 月 5 日 (木)開催予定の理事会において助成対象者が承認されます。

合否結果については、10 月 10 日 (火) 以降にメールまたは文書で通知します。

なお、採否の理由についての照会には回答いたしかねます。

## 9. 助成金の使途

助成金の使途は、助成対象者本人のみの研究に直接必要な経費とします（設備備品類、消耗品費、旅費等）。

ただし、以下の費用は対象外とします。

- 建物等の施設に関する経費(直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く)
- 助成期間中に発生した事故・災害の処理のための経費
- 助成対象者への人件費・謝金
- 助成対象者が所属する組織のオーバーヘッド（間接経費）

## 10. 助成金の贈呈

### (1) 贈呈式

2023年12月14日（木）に実施の贈呈式には、助成対象者本人に出席していただきます。

### (2) 助成金振込時期・振込先

2024年3月末までに、助成対象者の所属機関の指定口座に振込みます。  
助成対象者の個人口座への振込はできません。

## 11. 助成決定後の遵守事項

助成決定後、助成対象者には、主に以下の事項を遵守していただきます。

- (1) 研究計画書および予算書に基づく研究活動
- (2) 年次報告書および最終研究報告書の期限内提出
- (3) 助成終了時の研究報告会での発表

## 12. 個人情報の取扱いに関する事項

- (1) 当財団の研究助成への応募にかかわる全ての個人情報は、選考に関する手続き(審査および当財団からの連絡)のみに使用します。
- (2) 助成決定後、当財団に「個人情報の取扱いに関する同意書」を提出し、併せて主として当財団の刊行物とホームページ等に以下の情報を公開することに同意していただきます。
  - ① 助成対象者の氏名、所属機関名、職位、顔写真
  - ② 研究課題名
  - ③ 申請研究の内容
  - ④ 研究期間
  - ⑤ 助成金額
  - ⑥ 研究成果報告
  - ⑦ 財団主催の行事に参加した際、財団で撮影した写真

## 13. 申請に関する問い合わせ先

※電話でのお問い合わせは受け付けていません。必ず文面に所属機関、ご氏名、メールアドレスを記載し、メールでお願いします。

※お問い合わせの前に、ホームページ上の「申請FAQ」をご確認ください。

公益財団法人ロッテ財団 研究助成担当 宛  
メールアドレス：[zaidan.lotte@lotte-hd.co.jp](mailto:zaidan.lotte@lotte-hd.co.jp)

以上